



山梨県
富士吉田市

富士山を臨む豊かな自然環境との調和で サステナブルな社会の実現に貢献

富士吉田市は、山梨県の南東部・富士山の北麓に位置する高原都市です。河口湖と山中湖に挟まれた豊かな自然を背景に、独自の歴史・伝統・文化を培い発展してきました。イーレックスは、次世代のクリーンエネルギーである水素発電事業をこの地でスタートし、発展に努めて参ります。



富士吉田水素発電所 (実証型水素専焼発電所)



イーレックス株式会社

設立: 1999年12月8日

本社: 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン14階

URL: <https://www.erex.co.jp/>

■水素供給元企業

Hydrogen Technology株式会社

本社: 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-1-3

発電所所在地

〒403-0006 山梨県富士吉田市新屋1661-5

Hydrogen Technology 水素実証センター

交通アクセス

■お車でお越しの方

中央自動車道「河口湖IC」から国道139号線
経由で約15分

東名高速道路「御殿場IC」から東富士五湖道
路「山中湖IC」経由で約40分

■電車でお越しの方

中央本線「大月駅」から富士急行大月線に乗り
換え「富士山駅」下車、タクシーで約10分



発電所概要

次世代のクリーンエネルギーで
未来の暮らしをつくる

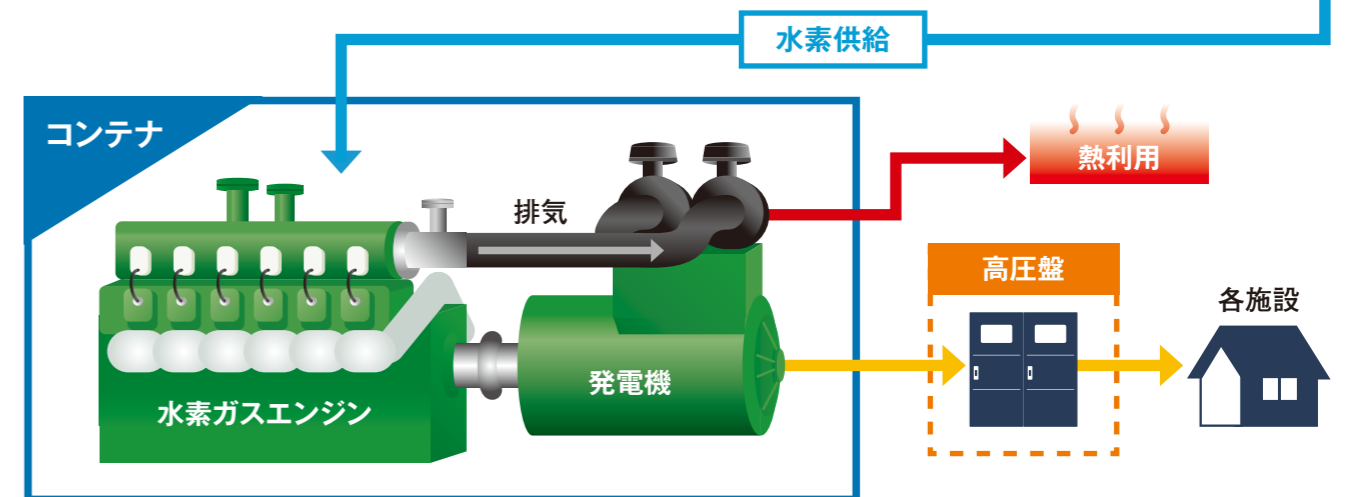
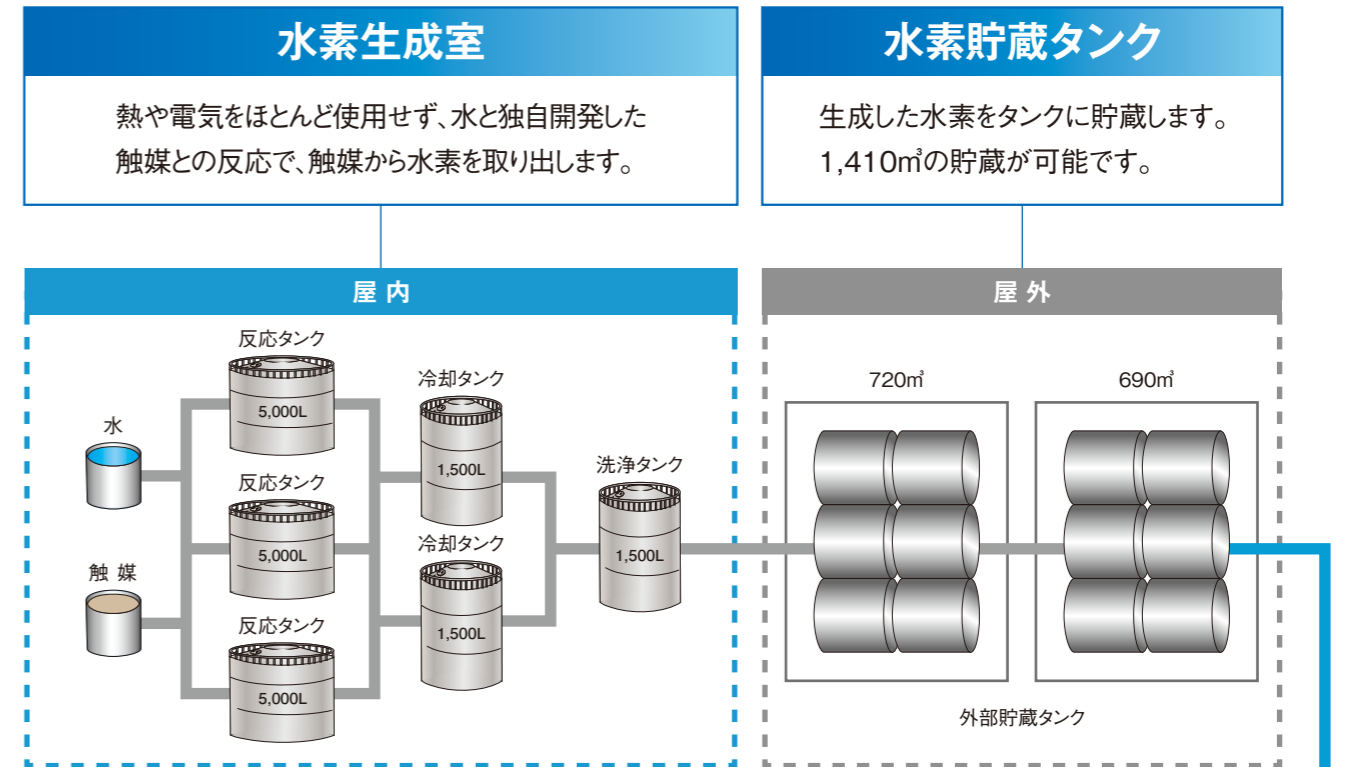
富士吉田水素発電所は、①連続性の確認、②コストの低減、
③安定性の確認を目的とした、実証型の水素専焼発電所です。
クリーンエネルギーである水素を活用することで脱炭素社会の
実現を目指し、2022年4月6日より実証実験を開始しております。



発電設備概要	
施工	2022年3月
敷地面積	225㎡
発電方式	水素専焼エンジン (ドイツ製)
発電出力	320kW (約80世帯分)
熱供給能力	340kW
発電効率	40%
熱利用効率	43%
水素消費量	270Nm ³ /h

水素発電の仕組み

水素は、炭素分を含まずCO₂を排出しないという環境特性を持っております。
またエネルギーを貯め、運び、利用する特性があるため、発電分野、運輸分野、家庭・業務分野など
エネルギー消費における分野の多くで対応できる可能性をもっています。
本発電所は、Hydrogen Technology社独自の技術により製造される安全で安価な水素を用い
て、発電を行うことを通じて、水素社会の実現を目指します。



ガスエンジン・発電機

水素ガスを毎時270Nm³利用。エンジン内で水素専用開発された燃焼器で水素を燃焼させて、エンジンを回転させ、その運動エネルギーを電気エネルギーに変換することで発電します。燃料の水素には炭素を含まないため、水素発電は発電段階でCO₂を排出しないクリーンなエネルギー供給源です。排ガスのNO_xも基準値以下であり、排ガスの廃熱から温水として熱を回収することも可能です。